## レディーミクストコンクリート配合計画書

No.

2023 年 4 月 1 日

瀬戸田生コンクリート株式会社 広島県尾道市瀬戸田町名荷2393-1 TEL:0845-27-0022 FAX:0845-27-0030

								_	IEL.0045	21 002	12 I'A	17.0049	21 0030		
			配合計画者名 福田 悠一												
エ	事 名	称													
所	在	地													
納入	予 定	時 期													
本配合	の適月	月期間 3	月11日~	~6月1	0日,9月21	日~12	2月10日	の期間は	標準配合.左	記以外の	期間は個	備考欄②③	 Dに記述。		
コンクリ	ートの打i	込み箇所													
		•		酉	2 合	の「	設 計	· 条	件						
コンクリートの 呼び方 種類による記号			Д	乎び弱	強度	スランフ	プマは cm	スランフ゜フロ	ソプ フロー 粗骨材の		<b></b>	セメントの種類 による記号			
	普	通		24			8					В	ВВ		
指し、セメントの種類					呼び方欄	に記す	載	粗骨棒	 粗骨材の最大寸法			呼び方欄に記載			
電電源 (必) 骨材	才の種類	使用材料欄に記載				アルス 方法	リシリカ反	応抑制対象	策の	ВВ					
		反応性による	3区分	使用材料欄に記					軽量コンクリートの単位容積			— kg,			
11n _ —	指の区分					闌に記		_	クリートの温			最高・最低 − ℃			
定任  混積	定任 混和材料の種類及び使用量 使用										上限	60 %			
						0.30 kg/m <sup>3</sup> 以下 28 日				直の上限 目標値の	下限	- kg/m - kg/m			
項一							- グンド量の 目標値の上限	口标吧叨	I PIX	Ng/III					
空急	 素量								上後のスラン	/プ増大	量	— cm			
						用	材	料							
セメント	生産者名	UBE三菱	をセメン	/ ト株	式会社			密	i度 g/cm³	3. 04	Naz	20eq %			
混和材製品名 — —				5	種類 –			密	-			Na 20 eq % —			
骨、	TT. WT		<b>並はまた日</b>				レカリシリカノ		粒の大き	粗粒率	密度	g/cm³	微粒分量		
材 No.	種類		地又は	は品名 		区分		) 方法	さの範囲	又は 実積率	絶乾	表乾	の範囲%		
//	加工砂	呉市蒲刈町					化学》		5	2. 90	2. 5	2.56	<del>-</del>		
	<u></u>	大分県津久	久見市上青江胡麻柄山系				モルタ	ルバー治	去 5	2.80	2.63	2.66	$7.0\pm 2.0$		
材 ③	_	_						_		_   -   -		-	_		
1 1	<b></b>	呉市蒲刈町産				A	化学》		15~ 5			2. 72	$0.5\pm0.5$		
	<u></u>	呉市蒲刈町					化学》		20~10	60		2. 72	$0.5\pm0.5$		
$\vdash$	材   ③   砕石4020   呉市蒲刈町産   混和剤①   ポリロム   フローリック SV10						A 化学法 40~20					- 2. 72 0. 5±0			
混和剤①		種 AE減水剤 標準形 1種					1,420 cq								
混和剤②	製品名	001.0/	_		J. 7	類			—  a		口抽。	%   	- 0/		
細骨材の塩化物量 0.001 %   水の区分 地下水・回収水(上澄水)   目標スラッジ固形分率   一 %															
回収骨材の使用方法     細骨材     -     粗骨材     -     安定化スラッジ水の使用の 本・(無)															
	混和材			1	配	1	合 	表	kg/m³				1		
セメント	水	細骨材	材① 細骨材②		細骨材③ 料		粗骨材(	<ol> <li>粗骨材(</li> </ol>	2 粗骨	材③ 涯	昆和剤①	混和剤②			
269 — 15			558	558 247			_		493	38	34	1.88			
水セメ	ント比	57.0	%	7	水結合材.	比		_	%	細骨材	率	4	3.6 %		
	_						细骨材	混合比(	次待) 加丁	が、おかい	-70:30	_			

## 備考 JIS該当品

細骨材混合比(容積) 加工砂:砕砂=70:30

用号 JIS該当中 粗骨材混合比(質量) 砕石1505:砕石2010砕石4020=20:45:35②. 修正標準配合として次に示す適用期間の間、混和剤の単位量のみ変更。 ③. 夏期 6月11日~9月20日 +20% 冬期 12月11日~3月10日 −20%

骨材の質量配合割合, 混和剤の使用量については, 断りなしに変更する場合がある。

## <u>レディーミクストコンクリート配合計算書</u> <u>No.</u>

				 配合	<u></u>		 十 条 件	<u> </u>					
	コンク	リートの	III	_		スランプ・フロー		セ	 zメントの種類				
呼び方種類による記			H	сш				mm		による記号			
1		通	24			8		• .	40		BB		
軽量コンクリートの単位容積質量					g/m³ °C							5	%
定呼び強度を保証する材齢												В	
事 水セメント比の目標値の上限				60	%								kg/m³
項単位水量の目標値の上限			- kg/m³ 塩 化 物 含 有 量								0.30	kg/n	n³以下
流動化後のスランプ増大量													
変動係	数	V	当工場の実績により								10.	. 0	%
割増係数		$\alpha$	$\alpha = \frac{1.0}{1 - \frac{2.0 \times V}{100}} = 1.25$								α	= 1	1. 25
配合強	渡	m	$m = \alpha \times S \iota = 1.25 \times 24 = 30.0$									. 0	N/mm²
水セメント比		W/C	$m = a + b \times C/W = -15.00 + 25.90 \times C/W$ 57.0 %										
			W/C =	$=\frac{b}{m-a}$	$= -\frac{1}{3}$	25. 0.0 +	$\frac{90}{15.00}$ ×	100 =	57.0				
単位水	量	W	当工場の実績により									53 k	$\kappa g/m^3$
単位セメント量C		С	$C = \frac{W}{W/C} \times 100 = \frac{153}{57.0} \times 100 = 269$									69 k	kg/m³
		Cv	$C v = C \div 密度 = 269 \div 3.04 = 88$										$L/m^3$
空気量		A	A = 設計容積 × 空気量(%) = 1000 × 4.5(%) = 45										L/m³
粗骨材	かさ容積	Gv'	当工場の実績により (実積率=60 %)										$m^3/m^3$
単位粗	骨材量	G v	G v = かさ容積×実積率(%) = 671 × 60(%) = 403										$L/m^3$
		G	G = G v × 密度(2.72) = 1096										$\kappa g/m^3$
		G1	$\bigcirc G1 = G \times 20(\%) = 219$										$\kappa g/m_3^3$
		G2 G3	$\bigcirc G2 = G \times 45(\%) = 493$ $\bigcirc G3 = G \times 35(\%) = 384$										kg/m³ kg/m³
単位細骨材量		Sv	S v=設	計容積-(W+	C v -	-G v +	(A) = 1000 -	- (153+8	8+403+45) =	=311	3	11 J	$L/m^3$
		S v 1 S v 2	$ \begin{array}{rcl} ① S v 1 &=& S v \times 70(\%) &=& 218 \\ ② S v 2 &=& S v \times 30(\%) &=& 93 \end{array} $										$L/m^3$ $L/m^3$
		S1 S2	① $S1 = S v 1 \times 密度(2.56) = 558$ ② $S2 = S v 2 \times 密度(2.66) = 247$										$\frac{\mathrm{kg}}{\mathrm{m}^3}$
細骨材	·率	S/a	$S/a = \frac{S \text{ v}}{S \text{ v} + G \text{ v}} \times 100 = \frac{311}{311 + 403} \times 100 = 43.6$									. 6	%
単位混	和剤量	ΑE	AE=C×添加率(%)=269×0.7(%)=1.88									88 k	$\kappa g/m^3$
		<u> </u>			1	合	表 k	$g/m^3$					
セメン	ト 混和材	水	細骨材	1 細骨材2	細竹	骨材③	粗骨材①	粗骨材(	2 粗骨材3	混和	剤①	混和	11剤②
269	269 — 153		558	247		_	219	493	384	1.	88		
水セ	メント比	57.	0 %	水結合材	比			%	細骨材率		43	3.6	%
<b>備老</b>													

備考